

Azure 上の Cisco ISE インスタンスの概要

Azure Cloud 上の Cisco ISE

Cisco ISE は Azure Cloud Services で利用できます。Azure Cloud で Cisco ISE を設定してインストールするには、Azure Cloud の機能とソリューションについてよく理解しておく必要があります。開始する前に、次の Azure Cloud の概念について理解しておきます。

- サブスクリプションとリソースグループ
- [Azure 仮想マシン](#)。「Instances」、「Images」、「SSH Keys」、「Tags」、「VM Resizing」を参照してください。

Azure の展開方法

Azure アプリケーションまたは Azure VM を使用して、Cisco ISE を Microsoft Azure に展開できます。

Azure アプリケーションまたは Azure VM を使用して Cisco ISE を展開しても、コストや Cisco ISE の機能に相違はありません。

Azure アプリケーションは、Azure VM と比較して次の利点があるため、Azure アプリケーションを使用することをお勧めします。

- Azure アプリケーションを使用すると、Azure VM 設定でのユーザーデータフィールドの代わりに、UI を使用して Cisco ISE 固有の選択肢を直接、簡単に設定できます。
- Azure アプリケーションの初期設定では、300 ～ 2,400 GB の範囲の OS ディスクボリュームを選択できます。しかしながら、Azure VM の初期設定中に、OS ディスクボリュームを Azure ポータルで示される固定値のセットに変更することはできません。

仮想マシンを再設定するには、Cisco ISE をインストールして起動した後に、さらに手順を実行する必要があります。

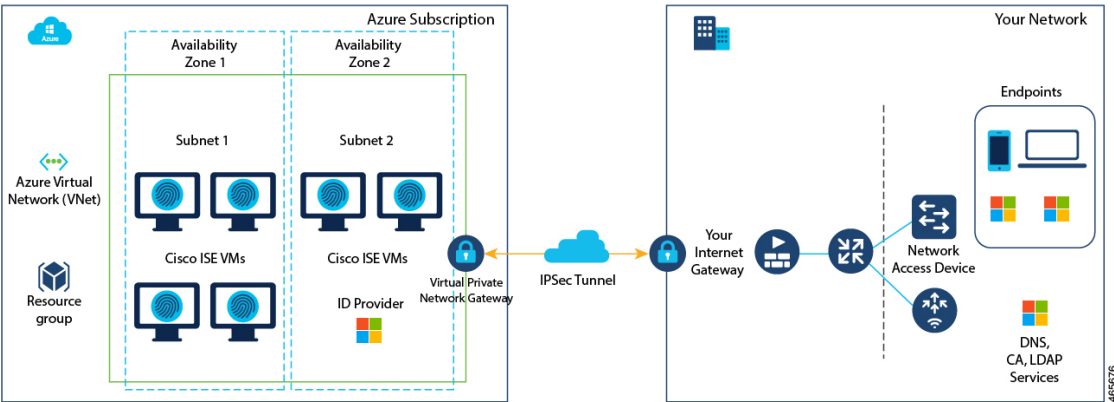
- Cisco ISE がサポートする特定の Azure VM サイズから直接選択できます。
- 初期設定時に静的プライベート IP アドレスを設定できます。

次の場合に Azure VM を使用できます。

- Cisco ISE を展開するために Azure ポータル UI を使用しない場合。
- Azure VM の設定ワークフローで使用可能な追加設定のいずれかを使用する必要がある場合。

以下に Azure Cloud に接続された展開の例を示します。

図 1: Azure Cloud に接続された展開の例



これらの展開方法に加えて、[シスコが開発した Terraform スクリプト](#)を使用して、Azure にマルチノード Cisco ISE 展開をインストールして自動的に作成することもできます。

 (注)

Cisco ISE インスタンスを作成するために、既存の Azure Cloud イメージを複製しないでください。

Cisco ISE でサポートされる Azure VM サイズ

Cisco ISE は、次の Azure VM サイズのいずれかを使用してインストールできます。

表 1: Cisco ISE でサポートされる Azure VM サイズ

Azure VM サイズ	vCPU	RAM (GB)
Standard_D4s_v4 このインスタンスは、Cisco ISE の評価のユースケースをサポートしています。100 の同時アクティブエンドポイントがサポートされています。	4	16
Standard_D8s_v4	8	32
Standard_F16s_v2	16	32
Standard_F32s_v2	32	64
Standard_D16s_v4	16	64
Standard_D32s_v4	32	128
Standard_D64s_v4	64	256

Cisco ISE リリース 3.5 以降、Standard_D4s_v4 および Standard_D16s_v4 VM はサポートされていません。

Fsv2 シリーズの Azure VM サイズはコンピューティングに最適化され、コンピューティング集約型のタスクやアプリケーションの PSN として使用するのに最適です。

Dsv4 シリーズは、PAN または MnT ノード、またはその両方としての使用に最適な汎用の Azure VM サイズであり、データ処理タスクとデータベース操作を目的としています。

汎用インスタンスを PSN として使用する場合、パフォーマンスの数値は、PSN としてのコンピューティング最適化インスタンスのパフォーマンスよりも低くなります。

Standard_D8s_v4 VM サイズは、極小規模の PSN としてのみ使用する必要があります。

Azure VM サイズのスケールおよびパフォーマンスデータについては、『[Performance and Scalability Guide for Cisco Identity Services Engine](#)』を参照してください。



(注)

Microsoft は、時間の経過に伴い、Azure VM サイズの提供、予約購入、または予約更新のサポートを終了、制限、または変更する可能性があります。Azure プラットフォームのサポートと Cisco ISE クラウド統合の進化に伴い、シスコは Cisco ISE でサポートされる Azure VM サイズのリストを定期的に更新しています。

Azure で Cisco ISE の予約を展開、サイズ変更、または購入する前に、最新の [Microsoft Azure VM ライフサイクルと予約ガイド](#)を確認してください。

最新の [Microsoft ガイド](#)は、Fsv2 シリーズを含む特定の VM シリーズの予約済み VM インスタンスの購入および更新に影響する 2026 年 7 月 1 日以降の変更を示しています。このリストには、Standard_F16s_v2 や Standard_F32s_v2 などの Cisco ISE でサポートされている VM サイズが含まれています。

予約済みインスタンスの更新では使用できなくなった Standard_F16s_v2 または Standard_F32s_v2 を置き換える場合、シスコでは、代替の Cisco ISE でサポートされる VM サイズとして Standard_D32s_v4 を使用することを強く推奨します。これらのインスタンスは、Microsoft がサポートを終了するまで、従量課金制で引き続き使用可能です。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。